

令和7年度
運営に関する計画

大阪市立北中道小学校

大阪市立北中道小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は「明るく仲よく正しく生きる子、心身ともに健康でねばり強くがんばる子、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力をもち、個性と創造力豊かな子」という教育目標のもとに、令和3年度からめざす子ども像を「仲間と認め合い自らよりよく学ぶ子ども」とし、安全・安心な教育の推進と未来を切り拓く学力・体力の向上、学びを支える教育環境の充実をめざし、多様な教育活動を推進している。

安心・安全な教育の推進については、道徳性・社会性の育成に努めてきた。そこでは、多文化共生教育や特別活動に重点を置き人権を尊重する教育に取り組んだ。民族学級や国際理解教育の推進、異学年交流の推進、防災訓練など地域と連携した教育活動の工夫など進めて、互いのよさと違いを認め尊重し合う態度の育成を図った。その結果、「友だちを大切にして、助け合っている」では、校内アンケートにおいて令和3年度末は90%以上の児童が肯定的回答をした。今後も、友だちを大切にして、助け合える子どもを育成していくことに重点を置きたい。また、「自分にはよいところがある」では、校内アンケートにおいて令和3年度末は80%の児童が肯定的な回答をしている。今後も継続して自己肯定感の向上を図ることが課題である。

また、学力・体力の向上については、学習指導の充実と健康・体力の保持増進についての指導に努めてきた。そこでは、子どもの主体性を重視した学習指導と保健指導に取り組んだ。体育を中心とした教科指導の実践的な研究、自学自習できる環境整備、手洗い・うがいなど健康的な生活習慣の確立などを進めて、自ら学ぶ力と健康な心身の育成を図った。その結果、令和3年度末児童アンケートでは「授業に集中して取り組み、分からぬところは先生に質問するなどしてそのままにしない」についての肯定的な回答の割合が、全校平均84%あった。今後も、自ら学ぶ力を育成していく必要がある。また、「運動やスポーツをすることが好きですか」についての肯定的な回答が、令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査では大阪市平均を男女とも下回った。今後も運動への関心を高める続けることは課題である。

そして、学びを支える教育環境の充実については、ICT機器活用の推進に努めるとともに、会議や学校行事の精選を進めてきた。そこでは、児童が主体的にタブレット端末を活用できるよう取り組むとともに、教職員の負担軽減を図った。その結果、令和3年度末児童アンケートでは「進んでタブレットを使った学習に取り組んでいる」についての肯定的な回答の割合が、全校平均91%あった。今後も、主体的にタブレット端末を活用する環境づくりを進める必要がある。また、会議や行事の精選により、教職員の時間外勤務時間は縮減されてきてはいるが、課題を残している。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、令和3年度より5%増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和3年度より5ポイント向上させる。※全国平均を1とした時の割合

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、100%にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉学日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
(R4年度 75.4%) → (R5年度 77.3%) → (R6年度 79.3%)
- ② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
(R4年度 2.55%) → (R5年度 1.62%) → (R6年度 0.80%)
- ③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を100%にする。
(R4年度 0%) → (R5年度 33.3%) → (R6年度 100%)
- ④ 令和7年度末学校アンケート（児童対象）で「自分にはよいところがある」の項目の肯定的な回答の割合を81%以上にする。(R4年度 86%) → (R5年度 82%) → (R6年度 80%)
- ⑤ 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり（規則）を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を、94%以上にする。
(R4年度 経年 90.6%) → (R5年度 校内 92% 経年調査 93.9%) → (R6年度 校内 96% 経年 93.7%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合40%以上にする。(R4年度 41.4%) → (R5年度 43.8%) → (R6年度 36.8%)
- ② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R4年度 79.6%) → (R5年度 64.9%) → (R6年度 73.6%)
- ④ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R4年度 82.5%) → (R5年度 84.0%) → (R6年度 75.6%)
- ⑤ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を74%以上にする。(R4年度 69.5%) → (R5年度 72.7%) → (R6年度 73.5%)
- ⑥ 令和7年度末学校アンケート（児童対象）で「学習中に、自分もやればできると感じることがある」項目で肯定的な回答の割合を84%以上にする。(R4年度 79%) → (R5年度 79%) → (R6年度 86%)

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の52%以上にする。
- ② 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を82%以上にする。(R5年度 84%) → (R6年度 81.5%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立北中道小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。(R4 : 75.4%) → (R5 : 77.3%) → (R6 : 79.3%)</p> <p>② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R4 : 2.55%) → (R5 : 1.62%) → (R6 : 0.80%)</p> <p>③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を 100%にする。(R4 : 0%) → (R5 : 33.3%) → (R6 : 100%)</p> <p>④ 令和7年度末学校アンケート(児童対象)で「自分にはよいところがある」の項目の肯定的な回答の割合を 81%以上にする。(R4 : 86%) → (R5 : 82%) → (R6 : 79%)</p> <p>⑤ 令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまり(規則)を守っていますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を、94%以上にする。(R4 : 経年 90.6%) (R5 : 校内 92% 経年 93.9%) → (R6 : 校内 96% 経年 93.7%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校、いじめの対応を組織的に行うようとする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとのいじめアンケートについて「今のクラスになっていじめられている。」に「はい」と答えた児童への聞き取りを行い 100%対応する。(R6 100%) ・1日1回以上、「心の天気」を入力させ、児童の心の変化に気づきやすいようにする。 ・不登校とみられる児童への対応について学校全体だけでなく、関係諸機関と連携を取りつつ対応した割合を 100%にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向番号 2、豊かな心の育成】</p> <p>学校・保護者・地域が連携して「仲間づくり」を中心とした国際理解教育や人権教育を推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育、人権教育の年間指導計画を見直し、保護者・地域と連携した教育活動を実践する。本校の外国人教育について、教職員に対し年3回以上研修または共通理解の場を設け、児童に対し各学年1回以上民族講師との課内活動に取り組んだり交流給食を行ったりする。 ・学校アンケート(児童対象)における「自分がされていやなことは人にしないようにしている」の項目について肯定的な回答をした児童の割合を 85%以上、(R6 前期 90.1% 後期 85%) 「いろいろな国の生活や文化をもっと知りたい。」の項目について肯定的な回答をした児童の割合を 80%以上にする。(R6 前期 82.6% 後期 80%) 	
<p>取組内容③【基本的な方向番号 2、豊かな心の育成】</p> <p>にじいろ班活動やにじいろ行事を通して異学年交流を深め、子どもの心を豊かにする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が、各々の学年に応じた役割を意識して、児童集会やにじいろ清掃、にじいろ班活動等の異学年交流に取り組めるように実施し、学校アンケート(児童対象)における「ちがう学年(にじいろ班など)の人たちと活動することが楽しい。」の項目について肯定的な回答した児童の割合を 85%以上にする。(R6 85%) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

最終評価までの改善点

大阪市立北中道小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。(R4: 41.4%) →(R5:43.8%)→(R6:36.8%)</p> <p>② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>③ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R4 年度 79.6%)→(R5 年度 64.9%)→(R6 年度 73.6%)</p> <p>④ 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R4:82.5%)→(R5:84.0%)→(R6:75.6%)</p> <p>⑤ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を74%以上にする。(R4 年度 69.5%)→(R5 年度 72.7%)→(R6 年度 73.5%)</p> <p>⑥ 令和7年度末学校アンケート(児童対象)で「学習中に、自分もやればできると感じることがある」の項目で肯定的な回答の割合を84%以上にする。(R4:79%)→(R5:79%)→(R6:86%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>指導方法を工夫して、学習内容の定着を目指し、また、自宅学習の習慣を確立できるような支援に取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校アンケート(児童対象)の「きちんと宿題に取り組んでいる。」の項目について、肯定的な回答を95%以上にする。(R5 年度最終 93%) → (R6 年度 99%) 学校アンケート(児童対象)で「話し合う活動では、自分の考えを友だちに伝えることができる。」の項目について、肯定的な回答を83%以上にする。(R5 年度最終 85%) → (R6 年度 82%) 学校アンケート(児童対象)の「生活・理科の学習は好きだ」の項目について肯定的な回答を85%以上にする。(R5 年度最終 79%) → (R6 年度 88%) 学校アンケート(児童対象)で「外国語(英語)やモジュールの学習は好きだ」の項目について、肯定的な回答を80%以上にする。(R5 年度最終 82%) → (R6 年度 80%) 	
<p>取組内容②【基本的な方向番号5、健やかな体の育成】</p> <p>げんきアップ週間の取り組みや外遊びの啓発、体育科学習の指導方法の工夫により、健康や運動への関心を高める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> げんきアップ週間の振り返りで「昨日、おうちの人ときめた時間に布団に入った」(R7 年度より)の項目について達成率を70%以上にする。(R7 年度より) げんきアップ週間の振り返りで「寝る前はゲーム・スマホ・タブレットなどの画面を見なかつた」の項目について達成率を70%以上にする (R6 年度最終…68%) 学校アンケート(児童対象)で「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは楽しい」の項目について、肯定的な回答を90%以上にする。(R6 年度より) (R6 年度 93%) 年間で2回以上にじいろ班活動で体力向上の活動に取り組む。(R6 年度より) (R6 年度 1 学期なし 2 学期全校オリエンテーリング、3 学期大縄大会) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

最終評価までの改善点

大阪市立北中道小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>① 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の52%以上にする。(R6:1月末 51.6%)</p> <p>② 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を82%以上にする。</p> <p>(R5年度 84%) → (R6年度 81.5%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号6、教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>学習者用端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校アンケート(児童対象)の「使い方のきまりを守って、毎日タブレットを使っている」の項目について、肯定的な回答の割合を80%以上にする。(R6年度:92%) 	
<p>取組内容②【基本的な方向番号7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員間の情報交換・コミュニケーションの充実を図り、協働的に業務に取り組める環境づくりを推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日に18時までに退勤する教職員を90%以上にする。 教員の時間外勤務時間の1か月平均を30時間以下にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

最終評価までの改善点